「大山山麓の至宝」~「大山」ゆかりの刀を中心に~ 主な展示作品

伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会 一般財団法人米子市文化財団 米子市美術館

○7月29日(日)から8月26日(日)米子市美術館で開催の『「大山山麓の至宝」~「大山」ゆかりの刀を中心に~』における主な展示作品については以下のとおりです。

1. 大山ゆかりの刀剣

【名称】太刀 銘 安綱(たち めい やすつな)

【作者】安綱

【時代】平安時代

【指定】国重要文化財

【所蔵】国(文化庁保管)

【寸法】刃長 74.8cm、反り 3.1cm



【作者】安綱

【時代】平安時代

【指定】重要美術品

【所蔵】東京国立博物館

【寸法】刃長 71.7cm、反り 2.5cm



Image:TNM Image Archives

【名称】太刀(たち)

【作者】 -

【時代】平安時代

【指定】 -

【所蔵】春日大社蔵

【寸法】 刃長 82.4cm



【名称】太刀 銘 安綱(たち めい やすつな)

【作者】安綱

【時代】平安時代

【指定】米子市指定文化財

【所蔵】大神山神社蔵

米子市美術館寄託

【寸法】刃長 76.4cm、反り 3.3cm



【作者】 -

【時代】平安時代

【指定】県指定保護文化財

【所蔵】大神山神社蔵

米子市美術館寄託

【寸法】 刃長 69.9cm、 反り 2.5cm



【名称】 銀造糸巻太刀(ぎんづくりいとまきたち)

(太刀 無銘 古伯耆の拵) 【作者】 -

【指定】県指定保護文化財

【所蔵】 大神山神社蔵・米子市美術館寄託



【名称】 短刀 銘 備州長船住兼光(たんとう めい びしゅうおさふねじゅうかねみつ)

【作者】備州長船兼光

【時代】鎌倉時代

【指定】国重要文化財

【所蔵】 大神山神社蔵・東京国立博物館寄託

【寸法】 刃長 24.8cm、幅 2.3cm



画像提供:東京国立博物館

【名称】 金熨斗付合口(きんのしつきあいくち) (短刀 銘 備州長船住兼光の拵)

【作者】 -

【時代】江戸時代

【指定】国重要文化財

【所蔵】大神山神社蔵·東京国立博物館寄託



2. 大山の重宝

【名称】銅造観世音菩薩立像

【指定】国重要文化財

【所蔵】大山寺

【解説】大山寺に伝わる4躯の金銅仏(すべて国重要文化財)のうち、唯一中国、北宋期の彫刻とされる請来仏。平成28年10月の鳥取県中部地震で被災し、首の部分が折れる損傷を負ったが、平成29年11月に修覆を終え大山寺に帰還した。



【名称】 鉄製厨子(てつせいずし) (附祈願文鏤刻ノ鉄板三枚)

【指定】国重要文化財

【所蔵】大山寺

【解説】承安 2 年(1171)、紀成盛がその前年に消失した大山寺の本尊の代わりに新たな地蔵菩薩像を納めて寄進した厨子。この由緒をはじめとする、鉄板に陽鋳された銘文が、平安時代末期の伯耆地方や大山寺の歴史を物語る。



【名称】 銅造十一面観音菩薩立像

【指定】国重要文化財

【所蔵】大山寺

【解説】大山寺に伝わる4躯の金銅仏(すべて国重要文化財)のうち、飛鳥時代(7世紀後半)の彫刻とされる菩薩像。文和元年(1352)に境内から出土し、下山明神の御神体として祭られていたという伝承を持つ。



【名称】 木造不動明王坐像 【指定】 大山町指定文化財 【所蔵】 大山寺 【解説】 大山寺阿弥陀堂に 安置されていた巨大な 不動明王像。胎内に

鎌倉時代の墨書がある。



3. 嗒然

【名称】朝比奈三郎、曾我五郎 の草摺(くさずり)曳く図

【指定】米子市指定文化財

【所蔵】貴布禰神社

【解説】「曾我物語」和田酒盛の場面で、曾我五郎が兄を救うために躍り込もうとするのを、朝比奈三郎が鎧の草摺つかんで止めるくだりを舞踊化したもの。嗒然は不出世の武人五郎に自己を擬する一方、磐嶽から離れられなかった心境を朝比奈三郎に託したものであろう。



【名称】九老図

【指定】— 【所蔵】 米子市美術館蔵

【解説】 白居易をはじめとする唐の詩人や高官たち「九老(白居易、胡杲、胡杲、劉真、盧敦・鄭拠、盧貞)」が路、震の香山に集まり、清談を楽しむ様子

が描かれている。



4. たたらと刀剣製作工程

〇都合山鈩跡(つごうやまたたらあと)(日野町)、砺波鈩跡(となみたたらあと)(日南町)のたたら製鉄関 連資料や刀剣製作道具や製作工程について関連資料やパネル等で紹介。